

市民の笑顔をおとけします

9/26

土岐ふるさと塾で 駄知町の魅力を体感



土岐市の未来を担う子どもたちに、豊かな体験を通して「ふるさと土岐市」の伝統・文化・自然・産業を知る機会を提供し、ふるさとに愛着を持ってもらおうと始まった「土岐ふるさと塾」。

今年度2回目の開催となる舞台は駄知町。駄知公民館歴史文化部会の皆さんのご協力をいただき、町の歴史と魅力を学び、体験しました。



1. 旧車館でクラシックカーを見学する参加者
2. 酒蔵で麹に触れる体験をする参加者

10/8

紅陵高校2年生が 地域課題探究学習に挑戦

土岐紅陵高校2年生が、土岐市の第六次総合計画のもとに地域の課題について考え、アイデアを提案していく「地域課題探究学習」がスタートしました。

この日は、4つのテーマ「駅前商店街の活性化」「読書率の向上」「土岐市のPR」「健康寿命の延伸」に対して101人の生徒がそれぞれ興味をもったテーマに分散。各教室で登壇した市職員から助言をもらいながら、グループワークで各自意見を出し、それらをグループの意見として模造紙にまとめるなどしました。授業の後半には、各グループがまとめた意見を、成果物を見せながら発表。「SNSで女子高生が土岐市の魅力を発信」、「図書館にカフェができるスペースがあったら、若者の読書率が上がるんじゃないか」など、高校生ならではの視点でさまざまな意見が出されました。



1. 土岐市のPRについてグループで話し合う生徒
2. グループで話し合ったことを発表する生徒



10/24・25

駄知どんぶりまつり

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、春の「だち窯やまつり」は残念ながら中止となり、毎年楽しみにしてみえる多くの美濃焼ファンの皆さんを悲しませました。

今回の「駄知どんぶりまつり」はコロナ禍での開催となるため、感染症対策を講じるための準備に時間を要しましたが、各窯元の皆さんがしっかりとコロナ対策を講じ、秋



1. 親子で品定めをする様子
2. 窯元から説明を聞く夫婦

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、春の「だち窯やまつり」は残念ながら中止となり、毎年楽しみにしてみえる多くの美濃焼ファンの皆さんを悲しませました。

今回の「駄知どんぶりまつり」はコロナ禍での開催となるため、感染症対策を講じるための準備に時間を要しましたが、各窯元の皆さんがしっかりとコロナ対策を講じ、秋

10/7

ウォーキングのコツ、 楽しく体験

市の健康寿命延伸事業「ときげんきプロジェクト」の一環として、運動習慣があまりなくても取り組みやすいウォーキングの方法を学ぶ教室が開かれました。

この日は午前と午後の部で30代から80代までの合わせて21人が参加。健康運動指導士の講師からシェイプアップウォーキング、インターバルウォーキング、脳・神経系を刺激するウォーキングの講義を



1. 市役所の外でウォーキングを実践する参加者
2. 市役所「多目的スペース」で講義を受け、ストレッチをする参加者

受け、さっそく実践。体全体をほぐすために、腕の振りや歩幅を大きくするなど歩き方のコツを体験しました。

参加者は、「楽しい。歩きながら、手をグー、パーなどに入れ替えるのは意外と集中力がある。間違えることもあるけど、周りの人と笑い合いながらできるのがいい」と笑顔で話してくれました。